メルセデス・ベンツ 車両環境データ〈V-Class〉

モデル				V 220 d AVANTGARDE / V 220 d AVANTGARDE long	V 220 d / トレンド / スポーツ / スポーツロング / アバンギャルドロング	V 220 d アパンギャルド エクストラロング	V 220 d アパンギャルド エクストラロング
車両型式				3DA-447811C	LDA-447811	3DA-447815C	LDA-447815
排出ガス試験走行モード				WLTCモード	JC08H+JC08Cモード	WLTCモード	JC08H+JC08Cモード
原動機				651	651	651	651
総排気量 cc			cc	2,142	2,142	2,142	2,142
変速機			•	電子制御7速A/T	電子制御7速A/T	電子制御7速AT	電子制御7速A/T
駆動方式				後輪駆動(FR)	後輪駆動(FR)	後輪駆動(FR)	後輪駆動(FR)
	適合規制・認定レベル			ディーゼル乗用車 平成30年基準 排出ガス規制に適合	ディーゼル乗用車 平成21年基準 排出ガス規制に適合	ディーゼル乗用車 平成30年基準 排出ガス規制に適合	ディーゼル乗用車 平成21年基準 排出ガス規制に適合
出	規制値・認定値	一酸化炭素(CO)	g/km	0.63	0.63	0.63	0.63
ガス		非メタン炭化水素 (NMHC)	g/km	0.024	0.024	0.024	0.024
		窒素酸化物(NOx)	g/km	0.15	0.08	0.15	0.08
		粒子状物質(PM)	g/km	0.005	0.005	0.005	0.005
	適合規制レベル		,	平成11年規制に適合	平成11年規制に適合	H11年騒音規制に適合	平成11年規制に適合
騒		加速走行騒音(規制値)	db	76	76	76	76
音		定常走行騒音(規制値)	db	72	72	72	72
		近接排気騒音(規制値)	db	96	96	96	96
燃料	の種類		,	軽油	軽油	軽油	軽油
燃料	·消費率*1	燃費(km/L)		11.4 *3	15.3	11.4 *3	15.3
		二酸化炭素(CO2)排出量(g/km) 燃料消費率からの算出値		227	169	227	169
		平成27年度燃費基準		25%向上達成	+20%達成	25%向上達成	+20%達成
		令和2年度燃費基準		-	+30%達成	-	+30%達成
		令和12年度燃費基準		-	-	-	-
		燃費基準達成車 平成27年度		医育品单个25次混合率	-	图有基本 625% 基本	-
		燃費基準達成車 令和2年度		-	-	-	-
		燃費優良車 令和12年度		-	-	-	-
		備考					
カーコ	カーエアコン冷鰈 *2 種類:R134a (GWP:1430)		使用量: 950g	使用量: 950g	使用量: 950g	使用量: 950g	
リサィ	サイクル リサイクル設計の有無		有	有	有	有	

- *1 上記の燃料消費率の数値は国土交通省審査値です。燃料消費率は定められた試験条件のもとでの数値です。 実際の走行時には、気象、道路、車両、運転、整備等の状況が異なってきますので、それに応じて燃料消費率が異なります。
- *2 冷媒の環境影響度の低減(フロン排出抑制法における目標値/目標年度:GWP150/2023年度)。 GWP: Global Warming Potential (地球温暖化係数)。 大気放出禁止・廃棄時要回収。
- *3 WLTCモードに基づく燃費消費率となります。 WLTCモードは、市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。 市街地モードは、信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定し、郊外モードは、信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定、高速道路モードは、高速道路等での走行を想定しています。
- 本車両環境データの内容は、2020年4月22日現在のものです。





■一酸化炭素(CO):

無色、無臭、水に難溶の気体で、重油、ガソリンなど炭素 を含む化合物が不完全燃焼する時に発生する。 工場・事業場や自動車などから大気中に排出される。環境 基準並びに「大気汚染防止法」及び「都道府県条例」によ る排出基準、自動車排出ガスの許容限度がそれぞれ定め られている。

■ 富素酸化物(NOs)とにおいて、空気中の窒素と酸素が高 燃料などの燃焼過程において、空気中の窒素と酸素が高 温下で反応とか、燃料中の窒素分が酸化されて発生する。 工場、事業場等から排出されるが、自動車からも排出され る、刺激性があり、汚染が激しい地域で生活していると呼吸 器障害を起こすといわれている。また、酸性雨の原因物質 でもある。

■炭化水素(HC),非メタン炭化水素(NMHC):

炭素と水素からできている化合物の総称。炭化水素は、 作業者の神経系や肝臓障害をひきおこすため「労働安全 衛生法」で管理体制等が定められている。 大気中で拡散した炭化水素は、強い紫外線を受けて光化 学オキシダントを生成し、人体や植物に害を与える。 尚、NMHCは、有害性がなく光化学的に不活性のメタン を除外したものであり、有害性であり浮遊粒子状物質等の 二次生成成分を的確に低減するために平成17年排出ガ ス規制から規制されている。

■粒子状物質(PM):

大気中に浮遊する粒子状物質で、工場からの煤塵、 ディーゼル車の排出ガス、粉塵、土埃などがある。ディー ゼル車の排出ガスの粒子状物質の成分のほとんどは燃料 の燃え残りのカーボンと炭化水素であり、微量に硫酸塩と 潤滑油成分である。遊粒子状物質(SPM;粒径10ミクロン以 下)は呼吸器への影響があるといわれている。